

もう限界!

日本共産党の躍進で

高すぎる国保税の引き下げを

負担の限界を超えて高すぎる国民健康保険税が、市民を苦しめています。国保税が払えず、加入世帯の約15%が滞納を抱えています。滞納者に対しては、短期保険証の発行や強権的な差し押さえなどの手段で取り立てが行われています。制裁強化では、受診抑制による重症化や無保険者の増加を招くだけです。

所得が低いのに保険料が一番高い

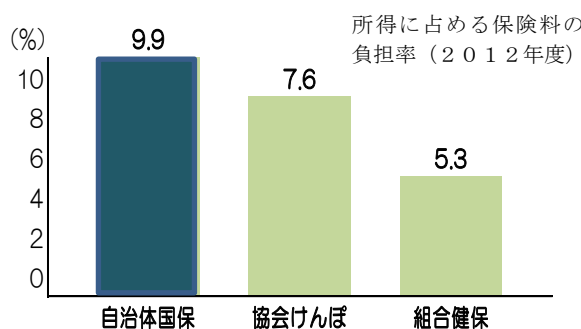
所得に占める一人あたり保険料(税)の負担率は、組合健保が5.3%、協会けんぽ(中小企業労働者が加入)が7.6%に対し、国保は9.9%にもなっています。(右グラフ)

ところが現在、国保加入者の8割近くは低所得の高齢者や非正規雇用の労働者で、平均の世帯所得は138万円しかなく、“所得が低いのに保険料が一番高い”という不公平な実態です。

こんなに高い国保税の原因は、国が国庫負担率を下げてきたからです。これを正すには、公費を投入する以外にありません。

国民健康保険の構造的な危機打開のため、全国知事会は2014年、公費を1兆円投入して「協会けんぽ」並みの負担率に改善するよう求めています。

組合健保の2倍 重い国保の負担率



これでは払えません

大家族ほど高くなる過酷な「均等割」

給与収入400万円4人世帯で30万円もの国保税

(江南市のモデルケース 30代夫婦、子ども2人の家族の場合)

組合健保や協会けんぽなどの保険料は、収入に応じて決まります。しかし国保税は、所得や固定資産税額その他、家族数に応じてかかる税額(均等割)と、世帯にかかる税額(平等割)の合計です。

国保税の負担が重い最大原因は、国保特有の「均等割」と「平等割」。所得にかかわらず頭数に応じて課税する均等割は、もっとも原始的で過酷な税。時代錯誤で逆進的な負担は、なくすことが必要です。

提案

全国知事会も要請

公費を1兆円投入し

子育て世帯や高齢者半額に

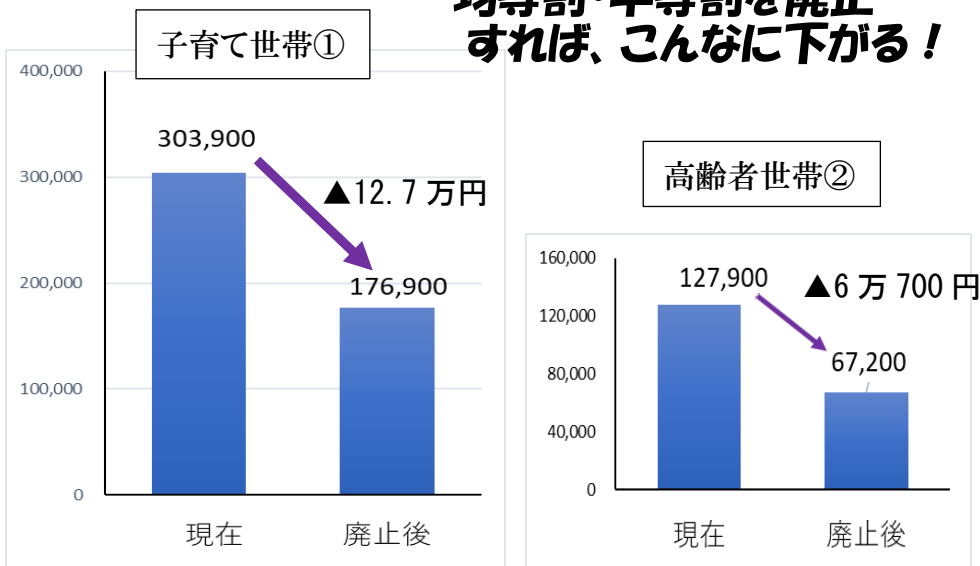
日本共産党は公費を1兆円投入すれば、全国で「均等割」「平等割」を廃止し、協会けんぽ並みの国保税に大幅に引き下げることができると提案しています(右グラフ)。大資産家・富裕層への優遇税制を改めるだけで財源はつくれます。

国保県単位化による値上げに反対

安倍政権は、国民健康保険の財政運営を県単位に変えてしまい、市町が独自に一般会計から繰り入れて国保税の軽減を行っているのを止めさせようとしています。

日本共産党は、一般会計からの繰り入れを継続させ、県単位化による更なる値上げをさせません。

均等割・平等割を廃止すれば、こんなに下がる!



江南市子育て世帯モデルケース①
給与収入400万円 30代夫婦と子ども2人の4人世帯。固定資産税額8万円の場合。

江南市高齢者世帯モデルケース②
年金収入が夫230万円と妻50万円の65歳以上2人世帯。固定資産税額8万円の場合。

2019年度予算要望書を提出

11月16日、日本共産党議員団とみわ陽子(党市子ども・教育責任者)の4人で、市民の要望をまとめた32項目の新年度予算要望書を市長に提出しました。



願いが実現

小学校のエアコン工事が始まります

皆さんと力を合わせて取り組んできたことが、12月議会の補正予算に盛り込まれました。

- ★市内10小学校すべてで、エアコン設置工事が始まります。夏からの利用開始をめざします。
- ★中小企業振興基本条例の制定へ検討委員会が設置されます。
- ★70歳以上の運転免許証自主返納者に、運転経歴証明書発行手数料(1100円)を補助する制度ができました。

提案

子どもにかかる国保税をただちになくして、子育て世代を応援



生まれたばかりの赤ちゃんから国保税(均等割、江南市では1人25,600円)を取るなどとんでもない! 市独自の施策として、子どもにかかる国保税をなくすることができます。全国でも県内でも、子どもの国保税を軽減する市町が増えてきました。江南市でも、ぜひ実現させましょう。

安倍9条改憲NO! 消費税10%中止を



すやま初美
参院愛知選挙区
党県若者雇用対策部長



井上さとし
比例代表
参議院議員

比例代表は「日本共産党」と政党名をお書きください。(個人名でも投票できます)
参議院の選挙制度の解説
記載例

12月議会の主な一般質問をお知らせします

布袋ふれあい会館 3F競技場の冷房費 わずか10円相当なのに1280円も徴収

東
よしき
議員



布袋ふれあい会館3階競技場の利用料金は、エアコン代を含めても、2時間あたり現行より10円しかアップしないのに、江南市はエアコン代として1280円もの別料金を市民から徴収し続けています。

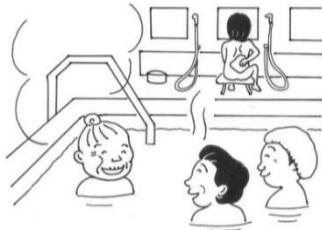
東議員は、ただちにエアコン代の別途徴収を止めよと追及しました。

質問に用いた数字は、市当局がH29年度実績値に基づいて計算したものであったため、議場が静まり返り、副市長は「数字の分析をしない」と答弁せざるを得ませんでした。

また、市民から「布袋ふれあい会館のお風呂が冷たい。すぐに対応してもらえない。風邪をひいてしまう。」との訴えがあったことを取り上げ、お風呂を有料化しながら不親切な市の対応を批判し、適温への調節を求めました。

エアコン代が高いので暑くても我慢していました。早く改めてほしいです。

傍聴者の声



休耕地に雨水調整池を、県が現況測量へ 日光川上流の浸水被害軽減へ前進

森
ケイ子
議員



江南団地西交差点のところを起点とする二級河川日光川は、雨が強く降ると真っ先にあふれ、道路の冠水や床上、床下浸水など被害は深刻です。

一つの対策として、日光川沿いの休耕地に雨水調整池をつくり被害を軽減する提案をし、繰り返し実現を求めて

きました。11月には、みわ陽子さん（党市子ども・教育責任者）といっしょに一宮建設事務所を訪問。市長も一宮市長とともに県に対し調整池の早期完成を要請するなど、江南市を挙げて取り組む体制もできました。このほど、ようやく県が調整池の有効性を認め、今年度中に現況測量に入ることになりました。

長年の懸案の解決へ貴重な第一歩です。



子どものインフルエンザ予防接種への 助成を求める請願は、継続審査に

新日本婦人の会江南支部から2600人の署名を添えて請願が12月議会に提出されました。日本共産党議員団は紹介議員となり請願採択に奮闘しましたが、尾北医師会に協力を求める必要があるとの意見が出て、請願は継続審査となりました。

怒 10月からの消費税10%中止の請願不採択

尾北民主商工会や年金者組合江南支部など4団体の共同で10月からの消費税10%増税中止を求める請願が12月議会に提出されました。審議の結果、日本共産党議員団3人と社民党議員の4議員だけの賛成少数で、不採択となってしまいました。

爆音まき散らし

市民の頭上でF35が危険な試験飛行

自衛隊に納入前のF35戦闘機（米軍機扱い）が小牧基地から岐阜基地に飛来し、江南市北部の上空を旋回コースにしてタッチ&ゴーの試験飛行を繰り返しています。昨年4月には上空でトラブルを起こし緊急着陸していました。このような危険な試験飛行に対し、江南市には前日にメール連絡があるだけで詳しい説明がないこともわかりました。

かけの
まち子
議員



F35ステルス戦闘機(航空自衛隊HPより)

数々の欠陥がある上、すさまじい爆音をまき散らし敵基地攻撃能力をもつ、F35戦闘機の試験飛行が今後も続けば、江南市民の安全は確保されず、騒音被害は我慢ならないものになります。

試験飛行の中止と詳しい説明を自衛隊に求めよと追及し、騒音自動測定装置を設置させるよう求めました。

市当局は岐阜基地周辺市町連絡協議会（江南市、犬山市、扶桑町、大口町）として、説明と騒音測定器の設置を求めていくと答弁しました。

市議会を傍聴

貴重な障がい児の母子通園施設

わかくさ園を守れ



党市子ども・
教育責任者
みわ
陽子

江南市が、わかくさ園の民間譲渡・廃止を検討していることを知りました。

建物の老朽化と同種の民間施設が市内に増えたことが理由だそうです。森ケイ子議員は怒りで声を震わせながら「わかくさ園の大切さ」を訴えていました。

市立わかくさ園は、母子で通園し療育を受ける施設。言語指導や作業療法、音楽療法など、専門の指導を親子で受けられます。不安を抱える保護者にとっても必要な場です。わかくさ園という質の高い施設があることで、保育園の障がい児保育や民間施設の質の向上につながるのではないのでしょうか。

貴重なわかくさ園を守るために、私も皆さんと力を合わせてがんばります。



さらに

鉄道高架2年遅れ、市が8億円も負担増に

布袋駅付近鉄道高架化事業の完成が2021年度末までさらに2年遅れることになり、全体の概算事業費が30億2000万円も増加。ところがこの増加分を愛知県と江南市だけで負担し、名鉄の負担はゼロ。12月議会に江南市の負担分を8億30万円増やし市負担合計を52億円余とする補正予算が提出されました。

日本共産党議員団は、工期の遅れと経費増加は名鉄に責任があり、名鉄に負担を求めるべきと強く主張し予算に反対しました。